



# れんげそう

令和7年11月28日  
福生第五小学校  
学校通信第580号

## 共生社会に向けて

校長 泉田 巧人

令和7年も残すところ1か月となりました。師走は、何かと慌ただしい月となるとともに、インフルエンザ、感染性胃腸炎等様々な感染症もはやる季節です。体調には気を付けて年末年始を過ごしてください。

11月25日(火)に、4年生の社会科見学で、東京スカイツリーと浅草に行ってきました。当日は小雨が降る天候となりましたが、子どもたちは東京スカイツリーの展望台から広がる東京都の風景に興味深く見ていました。浅草でも観光ボランティアガイドさんの浅草の歴史等についての話に聞き入り、たくさんメモを取っていました。東京スカイツリーと浅草には、多くの外国人観光客の方々がいて、日本の良さを感じている様子でした。子どもたちは、その方々の邪魔にならないよう配慮して行動していました。案内板や店の看板等は、いくつかの国の言葉で表示する等の配慮がされていました。ちょっとした配慮で人に優しく、より多くの人が快適に過ごせることを改めて感じました。



浅草寺本堂(第4学年社会科見学にて)

11月15日(土)から11月26日(水)まで、東京2025デフリンピックが開催されました。デフリンピックとは、「デフ(Deaf:聴覚に障害のある)+オリンピック」の略で、国際ろう者スポーツ委員会の主催で4年に一度開催される世界的な規模の聴覚障害者のためのスポーツ競技大会です。デフリンピックは、協議の運営上、視覚的な工夫以外はオリンピックと同じルールで実施されています。東京で行われた25回大会は、100周年の記念すべき大会でした。



デフリンピック レスリング会場  
(府中市郷土の森総合体育館)

私は、11月24日(月)にレスリングの観戦に行ってきました。レスリングでは、時間やポイント等が選手にも分かりやすいように大型ディスプレイで表示されていたり、審判が、ジェスチャーや選手の体をタップするなどして進めたりしていました。どの試合も障害など全く感じさせない熱戦が繰り広げられていました。私も日本手話で拍手をしたり、国際手話でおめでとうと送ったりするなど、サインエールで選手の皆さんを応援しました。他の会場でも、様々な競技が行われており、競技の特性に応じて合図を光で知らせたり、フラッグを使ったりしています。そうすることで、健常者と同じルールでの競技を可能にしています。できないと限界を決め諦めてしまうのではなく、どうすればできるかを考えていくことの大切さを実感しました。

日常の生活においても、ユニバーサルデザインにより利用しやすくなり、合理的配慮により必要な環境調整をしたりすることで、全ての人が住みやすくなります。子どもたちには、人が共に暮らしていく中で、多様性を受け入れ、何かあったときには、自然と手を差し伸べられる人になってほしいと願っています。その基盤を、学校の生活で育てていきたいと思います。誰もが輝ける共生社会の実現に向けて、優しさ、思いやり等の心を育てていきます。保護者、地域の皆様には、今年の学校教育への御理解と御協力をいただきましたことを心から感謝申し上げます。